

# 令和6年度 保育士自己評価のためのチェックリスト結果公表シート

## 1,2歳以上児保育士用

あかね保育園 1月実施

No.	チェック項目	おおむね実践している	実践しようと心掛けている	努力が必要である
1	保育園の保育方針を理解していますか。	50%	50%	0%
2	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	85%	15%	0%
3	個人情報に関するマニュアルに基づき、子どもやその家庭についての情報を、漏らすことがないようにしていますか。	100%	0%	0%
4	0歳から小学校までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか。	15%	85%	0%
5	子ども一人ひとりの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう努めていますか。	50%	50%	0%
6	季節感や伝統行事など取り入れたり、子どもの意欲を誘う環境構成を工夫したりしていますか。	50%	50%	0%
7	保育中も常に見られているという意識を持ち、私語を慎み、子どもの動きにすぐに対応できるような姿勢で保育に臨んでいますか。	50%	50%	0%
8	日々の保育記録を子ども一人ひとりの発達理解に生かしていますか。	50%	50%	0%
9	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、指導計画を立てて保育を進めていますか。	30%	70%	0%
10	「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	85%	15%	0%
11	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	50%	50%	0%
12	偏食を直そうと、無理に食べさせようとしたり、残さず食べることを無理強いしたりせず、個々に合わせた量を配膳していますか。	50%	50%	0%
13	「おや、何だろう？」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。	70%	30%	0%
14	保育者も一緒に楽しみながら自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか。	100%	0%	0%
15	子どもの目線に合わせて話をゆっくり聞いて、話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	70%	30%	0%
16	歌を歌ったり、リズムにのって体を動かしたりするとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか。	100%	0%	0%

17	寝かせる場合には、仰向けにし、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認（SIDS等の予防）をしていますか。	100%	0%	0%
18	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために日常的な体調や機嫌の状態をつかむように努め、さらに職員間で共有していますか。	100%	0%	0%
19	身体計測や内科健診等の結果から発育・発達の状況を把握し、それを保護者や職員に伝え、日常の保育に生かしていますか。	30%	70%	0%
20	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指示のもとに適切な対応をしていますか。	30%	70%	0%
21	保育室内外の安全点検を、毎日していますか。	30%	85%	0%
22	地震や火災等の非常災害時や不審者侵入等の非常時に、何をしなければならないか理解していますか。またマニュアルを理解し時々読み返す等、意識をしていますか。	30%	85%	0%
23	どの保護者にも平等にすすんで話しかけ、育児の悩みや心配事を話せるくらいの信頼関係を築けるよう、心がけていますか。	30%	70%	0%
24	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	50%	50%	0%
25	園長や主査の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、質問をしたり意見を言ったりできますか。	85%	15%	0%
26	職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言し、自分の意見と違う結論が出た時も、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	70%	30%	0%
27	クラスの教材や備品を、責任をもって管理していますか。また、自分のクラス以外の教材・教具などを、自らすすんで整えることができますか。	30%	70%	0%
28	その日の子ども一人ひとりの活動や姿をしっかり記録に留め一人ひとりの課題をみつけることができますか。（記入したメモ等ありますか。）	0%	100%	0%
29	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つける機会を定期的に持っていますか。	50%	50%	0%
30	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	100%	0%	0%

#### 【結果を受けて】

- 子ども一人ひとりと深く関わり合いながら、先の見通しをもって保育に臨んでいく。
- 食事面では、子どもの気持ちに寄り添った援助を心掛けていくようにする。
- メモを取ることの重要性を理解し、より細やかな保育に繋げていけるようにしていく。
- 安全点検、避難訓練、室内環境等への安全意識を高めて実行する。
- 教材や備品管理、整理整頓は、みんなで使うことを心掛けながら小まめにしていく。